

令和3年度 学校評価書

学校名	北海道滝川工業高等学校
-----	-------------

組織名	学校評議員会
-----	--------

評 価 者

1 学校教育目標

- (1) 健やかな身体と強い意志を育てる
- (2) 確かな学力と豊かな心を育てる
- (3) 創造的な技術能力と勤労の態度を育てる

2 本年度の重点目標

- (1) 授業を大切に、基礎的・基本的な学力を身につける
- (2) 自他の生命や人格を尊重し、集団生活における役割や責任を果たす
- (3) 目標をもち、心身とも健全な生活をおくる

学校評議員

A = 5 : 充分

B = 4 : 適當

C = 2 : 不 充 分

D = 1 : 要 検 討

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価結果内容の適切さ	取組の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
教育目標	1 学校教育目標等について教職員の共通理解が図られている。	B	A	- 学校評価の活用の推進 - 職員評価制度の活用の推進 - 職員研修の活用の推進 - 校務内規の見直し	A (4.50)	A (4.50)	A (4.75)
	2 学校教育目標の実現に向けた取組が行われている。	B	A				
関係者評価者の意見等	・今年度、遅刻者の大幅減少しており、今まで甘かった方針を厳しくしたことにとっても安心した。 基本的生活習慣は基本中の基本であり、まずは基本をしっかりと取り組んでいって欲しい。						
学習指導	3 生徒の実態や学科の特色を活かした教育課程の編成に努めている。	A	A	- 教育課程の不断の改善 - ICT機器の活用と授業改善の推進 - 授業規律の徹底と学習習慣の確立 - 朝学習を活用した礎学力の定着 - 測定ツールを用いた学力定着度合いの測定と補習等の学力ケアの充実	A (5.00)	A (5.00)	A (5.00)
	4 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに学習習慣の確立に努めている。	B	B				
	5 学習意欲を高め主体的に学ぶための教科指導の充実と、評価の工夫・改善に努めている。	B	A				
関係者評価者の意見等	・入学生の学力格差に対する取組は大変だが、新学習指導要領、ICT導入の活用など、教職員の協力体制や取組により、それらの生徒を受入制限せずに挑戦して行って欲しい。						
生徒指導	6 基本的生活習慣の定着と規範意識の醸成を図り、生命と人間尊重の精神を育むように努めている。	B	A	- 全教職員による一貫した指導の推進 - 組織的計画的生徒指導の確立 - 基本的生活習慣の確立 - 安全教育の推進 - 生徒理解と教育相談の充実 - 子供理解支援ツールの有効活用	A (5.00)	A (5.00)	A (5.00)
	7 自他の安全・安心を確保するための資質や能力を育てている。	A	A				
	8 一人ひとりの生徒を大切にし、生徒理解に基づく指導の充実を図っている。	A	A				
関係者評価者の意見等	・生徒が安心安全に学べる環境は学校の必須条件である。生徒の生き生きとした姿や活動が学校の魅力でもある。						
いじめへの対策	9 教職員、家庭との連携を図り、未然防止・早期発見に向けた観察やアンケート、教育相談を推進している。	B	B	- 生徒理解と教育相談の充実 - いじめ対応の組織的取組	A (4.50)	B (4.25)	B (3.75)
関係者評価者の意見等	・常に学校と家庭とのコミュニケーションのパイプの太さ密接さが大切である。 学校・家庭の連携が、いじめ問題の未然防止に大きく関わっていると考える。						
学校行事・課外活動	10 学校行事の検討を通して活発な生徒会活動の推進と生徒の精神的成長を目指している。	B	B	- 行事内容の改善充実 - 委員会活動の活性化 - コロナ後の部活動等の精選と活性化 - リーダー研修等による自主性の充実	A (4.50)	A (4.50)	A (4.50)
	11 部活動の活発な活動を推進している。	C	B				
関係者評価者の意見等	・現在、学校内の学習や取組が中心だが、市や町、企業や団体との交流はとても大切である。 ・インターンシップだけではなく、アフター・フォローの企画があっても良いの考える。						

進路指導	12 自己を理解し進路について自ら考え積極的に行動できる生徒を育てる進路指導に努めている。	B	B	・3年間を見通した計画的進路指導の推進 ・進路情報の収集 ・進路開拓の推進	A	A	A
	13 地域連携を推進し、体験的、実践的な学習を通して望ましい勤労観、職業観を育成している。	B	B	・情報提供の工夫と進路意識の醸成	(4.75)	(4.50)	(4.75)
	14 生徒が主体的に進路選択ができるように情報収集・発信に努め、保護者・生徒・教師の相互理解を図っている。	B	A	・インターンシップの充実 ・異校種・産学連携の推進 ・キャリアパスポートの活用			
関係者評価者の意見等	・現在、学校内の学習や取組が中心だが、市や町、企業や団体との交流はとても大切である。 ・インターンシップの充実はもとより、外部の方々や団体と活動するボランティア等の参加は、地域社会との学びの交流の場であり大切である。						
健康安全指導	15 健康保持への意識を高め、疾病予防、健康増進への態度を育てている。	B	A	・防災訓練の工夫改善 ・安全教育の推進	A	A	A
	16 生徒の生命安全性を第一に考えた防災意識の高揚に努めている。	B	A	・危機管理マニュアルの見直し ・感染症対策の一層の徹底	(4.50)	(4.50)	(5.00)
	17 生徒のメンタルケアに努め、安定した学校生活を目標としている。	B	B	・関係機関との連携			
関係者評価者の意見等	・避難訓練など概ね良好である。健康・防災・メンタルケア等、楽しく取り組める企画など、滝工ならではの取組を作れないか？						
研修	18 校内外の研修を活用し、教育環境の変化や生徒指導に係る研修・研究を行っている。	C	C	・実践的な校内研修の充実 ・校外研修の推進と研修成果の還元	B (3.75)	C (3.25)	B (4.00)
関係者評価者の意見等	・地域連携等の研修も必要。定期的に生徒を派遣するなど外部研修で生徒・教員ともスキルアップを目指しては如何か。						
組織運営 保護者、地域住民等との連携	19 共通意識を図り、協働体制の強化に努め、明るく活気のある職場づくりを推進している。	B	B	・校内組織間の情報共有化 ・互いに話しやすい環境、互いに協力し合う職場づくりの推進 ・働き方改革のより一層の推進 ・部活道指導等、業務の見直し ・PTA活動の充実 ・HP等情報発信の工夫改善 ・地域・保護者との連携の充実	B (3.75)	B (3.75)	B (4.00)
	20 北海道アクションプランを意識して、働き方改革を推進している。	B	B				
	21 教職員自身がメンタルケアや健康管理に努め、充実した教育活動が出来る職場環境づくりを推進している。	C	B				
	22 PTA活動・同窓会活動の促進に努めている。	C	C				
	23 学校の教育方針や教育活動について積極的に発信し、本校の教育活動への理解と協力が得られるよう努めている。	B	A				
関係者評価者の意見等	24 ボランティア活動や各種行事へ積極的に参加し、地域や家庭の期待に応えている。	D	C				
	・外部への情報発信は大切である。特にボランティア活動に力を入れてみては如何か。 ・ボランティア活動は地域への発進力、そして、生徒の自信を育てることとなる。町内清掃や、おもちゃの病院などを参考に。						

4 学校関係者評価におけるご意見等

- ・資格取得においては、合格率上昇しており、高い合格率となっている。
- あとは、学校の存在感を示す取組と、情報の発進力の向上に期待する。